

2014.11.19-4 扇ヶ鼻1698m～赤川荘



赤川温泉・雄飛の滝



扇ヶ鼻1698m



傾山1605m

祖母山1756m



扇ヶ鼻1698m

肥前ヶ城1685m

久住山1787m



標高が低くなると
紅葉がまだ見られました。





赤川温泉・赤川荘



赤川温泉



赤川荘

御迷惑をおかけします
今年から週4日営業となります
火水木は休日にさせていただきます
金土日月は営業します
赤川荘

CLOSED


健康増進法の趣旨に基づき
赤川荘の館内および玄関前
を全面禁煙にします。



引
PULL

御迷惑をおかけします
今年かう週4日営業となります
火水木は休みになります
金土日月は営業します
赤川荘

赤川温泉について

赤川温泉は文治2年（1185年）、源頼朝時代に巻狩り演習中の兵士により発見されたと伝えられており、久住山赤川谷奥10数箇所から自然湧出しています。赤川温泉は全国的にも稀にみる良質温泉ですが、独特な入浴法により一層効果を高める事ができます。

硫酸・カルシウム・炭酸水素・ナトリウム・マグネシウム・各イオンを豊富に含有する赤川温泉は、乳白色から淡いエメラルドグリーン色をしており、内湯と野天風呂との温冷浴法で代謝機能が活発となり、温泉効果が高まります。

更に、冷鉱泉を飲用することで大小腸の細胞活動を活発にし、体脂肪を乳化せしめ体毒の排出を顕著とし、奇跡的な症状改善が期待できます。

また、日本三大天然湯の花と評価される赤川温泉の良質な湯の花は、泉源で採取後精製し、「薬用くじゅう湯の花」として限定販売しており、ご家庭で赤川温泉を楽しむ事が出来ます。2000倍濃縮源液の「赤川濃縮温泉水」と共にお試しください。

赤川荘建物奥に見える「雄飛の滝」は昔から仏僧や修験者の修業の場となっていた為、昭和37年に今の名前になるまで「行者滝」と呼ばれていました。自然に囲まれた雄飛の滝を眺めながらの入浴は、心身共にリラックスする事が出来ます。

赤川温泉泉質

言一酸化炭素・硫黄―カルシウム―硫酸塩冷鉱泉（硫化水素型）

浴用の適応症

神経痛、筋肉痛、関節痛、五十肩、運動麻痺、関節のこわばり、うちみ、くじき
慢性消化器病、痔症、冷え症、病後回復期、疲労回復、健康増進、きりきず、やけど
慢性皮膚病（アトピー等）、慢性婦人病、糖尿病、高血圧症、動脈硬化症

飲用の適応症

糖尿病、痛風、便秘、慢性便秘、慢性胆のう炎、胆石症、肥満症、慢性消化器病

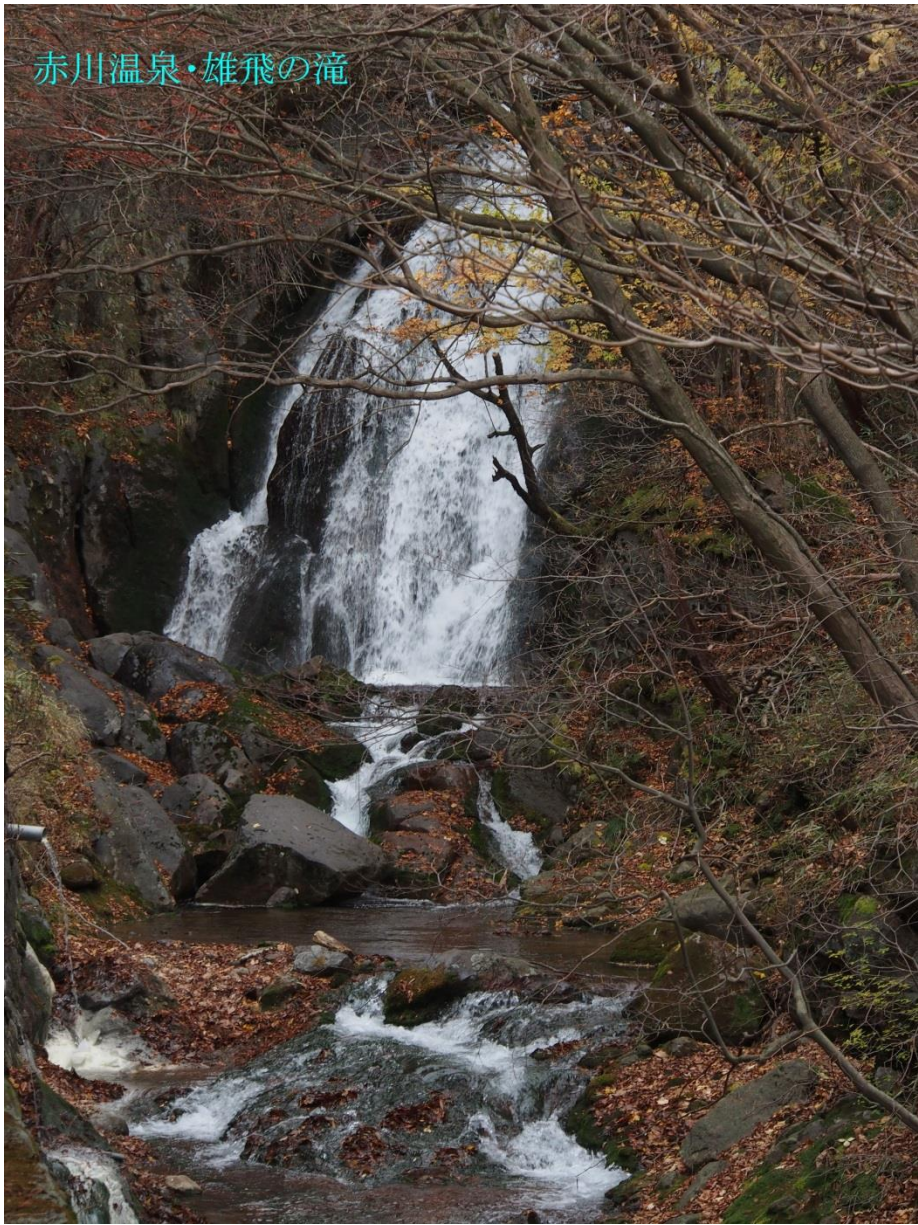
浴用の禁忌症

急性疾患、重い心臓病、呼吸不全、腎不全、出血性疾患、高度の貧血、皮膚・粘膜過敏症

赤川温泉・旅館「赤川荘」

TEL 0974-76-0081

赤川温泉・雄飛の滝







駐車禁止

山



14:22 赤川登山口に到着